



株主の皆様へ

# 2022年3月期 上半期報告

2021年4月1日～2021年9月30日

証券コード:5741



## 旺盛な需要に応え、 “軽やかな世界”の実現に 全力で取り組んでいきます。

代表取締役社長兼社長執行役員

石原 美幸



### はじめに

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、不幸にも亡くなられた方々に深い哀悼の意をささげます。同時に、最前線で日夜対応に当たられている医療従事者、保健機関の皆様、そして社会インフラを支えておられる皆様に、深く感謝申し上げます。

### 上半期を振り返って

当期における世界経済の状況は、新型コロナウイルス感染症の拡大による落ち込みから回復しつつあるものの、米国においては感染再拡大により雇用の回復が鈍化し、経済活動にも影響が及んでいます。また、中国では新型コロナウイルス感染の封じ込めによる活動制限強化、過剰投資抑制により経済活動が鈍化しました。さらに、国内においても、度重なる緊急事態宣言の発令で個人消費が伸び悩んでいます。

今後、国内外とも活動制限が緩和されることで経済回復が期待される一方で、半導体などの供給制約により自動車や電機分野を中心に生産活動への影響が長期化すれば回復が遅れる懸念もあり、不透明な状況となっています。

このような環境のもと、世の中の生活になくはならないアルミニウム圧延品業界において、板類の国内需要は缶材で微増、自動車関連分野では新型コロナウイルス感染拡大の影響で減少が顕著だった前年同期に比べて大幅な増加となりました。また、建築分野や箔用、厚板類でも増加し、板類全体としては前年同期比で増加となりました。押出類に関しては、自動車、自動車用熱交換器、二輪の分野において前年同期比で増加し、全体としても前年同期比で増加しました。

完成させていた世界3極の板事業生産体制を活かして市場動向に着実に応えたことによって、当社グループの国内向け販売数量は、板類では前年同期比で増加となり

ました。特に自動車関連分野を中心に前年同期比で増加し、その他建設関連や半導体製造装置関連、押出類でも前年同期比で増加しました。一方、当社グループの海外向け販売数量は、Tri-Arrows Aluminum Inc.やUACJ (Thailand) Co., Ltd.などの缶材の販売が好調だったことから前年同期を上回りました。その結果、2021年度上半期の当社業績は、売上高が3,650億円(前年同期比38.0%増)、営業利益が299億円(前年同期は11億円の損失)、経常利益が258億円(前年同期は26億円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益が173億円(前年同期は51億円の損失)となりました。

なお、各事業の状況を見ていくと、当期のアルミ圧延品事業の売上高は、アルミ地金価格の上昇や販売数量の回復などにより、3,269億円(前年同期比46.8%増)となり、営業利益は、アルミ地金価格の上昇による棚卸資産影響の

好転や販売数量の回復などにより、326億円(前年同期は20億円の利益)となりました。

加工品・関連事業においては、自動車関連分野、空調関連分野を中心に新型コロナウイルス感染拡大の影響からの好転が見られました。売上高は2021年度第1四半期から新収益認識基準を適用したことで765億円(前年同期比1.8%減)に、営業利益は2億円(前年同期は10億円の損失)となりました。

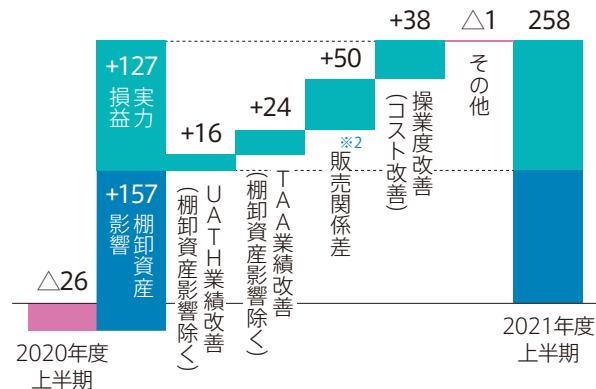
なお、懸案の財務体質については、販売回復や地金価格の高騰によって運転資金が増加したことなどで有利子負債が一時的に増加していましたが、利益の積み増し、投資の厳選、経費削減に取り組み、現預金水準を2020年度末並みに維持するとともに、有利子負債を88億円圧縮し、フリー・キャッシュ・フローは黒字となっています。

### アルミ板の品種別売上数量(千トン)※1

品種	2020年度 上半期	2021年度 上半期	増減
缶材	359	409	50
箔地	26	29	3
IT材	13	7	△5
自動車材	50	73	23
厚板	19	25	6
その他一般材	71	107	36
	<b>537</b>	<b>650</b>	<b>113</b>
合計	国内市場向け 215 海外市場向け 322	国内市場向け 245 海外市場向け 405	30 83

※1 内部取引控除後の数量

### 連結経常損益分析(億円)



※2 販売関係差:国内販売数量の増加および、品種構成の好転にともなう損益差

### 今後の見通し

当社は、長期ビジョン「UACJ VISION 2030」の実現に向けて、2021年度を初年度とする第3次中期経営計画をスタートさせました。この計画は、構造改革を完遂し、その先の成長とUACJ VISION 2030の実現に向けた基盤を確立することを目的としたものです。計画を着実に実行し、持続的な成長に向けた足がかりとする考えです。

構造改革については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で国内収益改革の効果の発現に遅れが出ていましたが、製造コストの低減、ロールマージンの改定などの追加施策を柔軟に実施し、2022年度には当初計画値を達成する見込みです。

2021年度の通期業績は、アルミ地金価格の上昇による棚卸資産影響の好転、北米を中心とした販売数量の増加、

想定していたコロナリスクの抑制傾向によって、2021年8月に上方修正した業績見通しをさらに上回る、売上高7,500億円、営業利益500億円、経常利益400億円、親会社株主に帰属する純利益200億円を見込んでいます。こうしたことを踏まえ、2020年度は誠に遺憾ながら無配としていた配当を復配とし、本年度の期末配当は85円を予定しています。

私は、UACJ VISION 2030の先にある10年後の世界では、アルミニウムが使われるシーンが一層広がっているのではないかと考えています。例えば、自動車のEV化が進めば、車体の軽量化や熱マネジメントのためにアルミニウム材料の採用が加速するなど、さまざまなアルミニウム製品の需要が拡大すると予測されます。また、世界的な資源リサイクルの推進により、アルミニウムが使われる世界の創

### 第3次中期経営計画の位置づけ



出・拡大が加速していくと考えられます。当社はアルミニウムに“+α”の価値を生み出し、“お客様から選ばれる素材”にすることで、この需要に応えていきます。加えて、アルミニウムを通じたサーキュラーエコノミーの実現において、中心的な「心臓の役割」を担っていきます。

そして、今後もグループの持続的な成長を実現し、「軽やかな世界の実現への貢献」を果たしてまいりますので、ステークホルダーの皆様には引き続きご理解・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 株主還元の推移



※3 2021年度は9月30日の終値。それ以外は各年度の年度末の終値

### 第3次中期経営計画(2021～2023年度)の目標

財務指標		非財務指標	
財務指標	目標値	6つのマテリアリティ	評価指標
売上高	7,000億円	気候変動への対応	サプライチェーン全体でのCO <sub>2</sub> 排出の削減量(2019年度BAU※6比)
営業利益	300億円	製品の品質と責任	重大品質不具合件数
売上高営業利益率	4.2%	労働安全衛生	客先クレーム件数
経常利益	250億円	人権への配慮	重篤災害発生件数
D/Eレシオ※4	1.2倍以下	多様性と機会均等	総合度数率※7
ROE	7.5%	人材育成	人権DD※8実施、結果を踏まえた目標づくりとアクションプラン実行
ROIC※5	6.0%		行動規範、人権、ハラスメント関連の研修実施率
			管理職に占める女性比率(役員含む、国内)
			後継候補者計画の実施
			重点分野に関する教育支援活動の受益者数
			目標値
			22%削減(2030年度目標)
			1件以下
			前年比10%減
			ゼロ
			4.00
			4製造所で実施
			96% (ハラスメント防止研修は実施率100%を継続)
			4%
			国内グループ会社に展開
			300人/年

※4 劣後ローンの資本性考慮後 ※5 税引前営業利益を基に算出

※6 BAU(Business as usual) : 何も対策を講じずに現状(生産量、品種構成)を維持した状態

※7 労働災害による死傷者発生頻度を評価する指標

※8 自社が与える人権への悪影響を防止・軽減するための継続的な取り組み

# サステナビリティの時代は、アルミニウムの時代?! サステナブルな社会の実現に向けた、UACJの挑戦

持続可能性が重要視される時代において、期待が高まるアルミニウム。  
その可能性を拡げることを謳った長期経営ビジョンを発表しました。  
サステナブルな社会の実現へ、UACJは挑戦します。



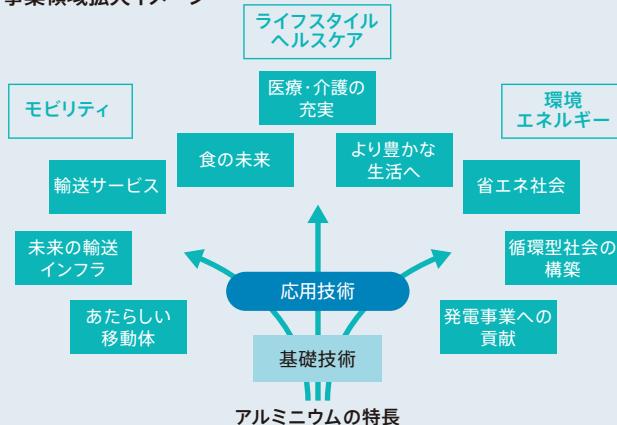
ガバナンス、コンプライアンス、品質、安全



## 培ってきたアルミニウム技術を踏まえ、 新たな成長分野を特定

アルミニウムはさまざまなところで用いられていますが、社会課題に目を向けると、まだまだ活躍できる分野があります。そして、当社が培ってきた基礎技術、応用技術にさらに磨きをかければ貢献できると考えています。そうした分野を次世代を担う中堅社員が議論して、「モビリティ」「ライフスタイル・ヘルスケア」「環境・エネルギー」の3つと決めました。アルミニウムの新たな付加価値を生み出し、社会課題の解決と当社の成長を図っていきます。

## 事業領域拡大イメージ



## 2030の 領域イメージ



### 貢献する分野

#### モビリティ

- あたらしい移動体
- 未来の輸送インフラ
- 輸送サービス

#### 環境・エネルギー

- 発電事業への貢献
- 循環型社会の構築
- 省エネ社会

#### ライフスタイル・ヘルスケア

- 食の未来
- より豊かな生活へ
- 医療・介護の充実

### 2030年度目標

#### 財務目標

売上高  
**8,000億円以上**

営業利益率  
**6%以上**

ROE  
**10%以上**

ROIC  
(税引前営業利益を基に算出)  
**10%以上**

#### 非財務目標

サプライチェーン全体での  
CO<sub>2</sub>排出の削減量

**22%削減**  
(2019年度BAU※1比)

※1 BAU (Business as usual) :  
何も対策を講じずに現状(生産量、品種構成)を維持した状態

## 当社初となる非財務目標を 6つのマテリアリティに紐づけて設定

サステナビリティへの取り組みは企業成長に欠かせず、また株式評価においても重要な要素となっています。こうした流れを受けて、当社は長期経営ビジョン・第3次中期経営計画と併せて6つのマテリアリティ(重要課題)に紐づけた非財務目標を公表、経営戦略のなかにサステナビリティ活動を明確に位置づけました。役員報酬体系にも組み込み、サステナビリティへの取り組みを強力に推進していきます。

6つのマテリアリティ	評価指標	2030年度目標
気候変動への対応	サプライチェーン全体でのCO <sub>2</sub> 排出の削減量(2019年度BAU比)	22%削減
製品の品質と責任	重大品質不具合件数	ゼロ
	客先クレーム件数	2020年度比半減
労働安全衛生	重篤災害発生件数	ゼロの継続
	総合度数率※2	2.45
人権への配慮	人権DD※3実施、結果を踏まえた目標づくりとアクションプラン実行	UACJグループ国内および海外の主要な事業所で実施
	行動規範、人権、ハラスメント関連の研修実施率	100%
多様性と機会均等	管理職に占める女性比率(役員含む、国内)	15%以上 (最低15%を目標とし、政府が定める30%を可能な限り目指す)
人材育成	後継候補者計画の実施率	100%
	重点分野に関する教育支援活動の受益者数	500人/年

※2 労働災害による死傷者発生頻度を評価する指標

※3 自社が与える人権への悪影響を防止・軽減するための継続的な取り組み

# 需要が増えるには理由がある。 環境重視の時代に 新たな価値を生み出す「アルミ缶」

北米では、環境への配慮から飲料容器をアルミニウム製に切り替えるメーカーが増加しています。活況を呈する北米アルミニウム缶市場の現状と、今後のリサイクルシステム構築への展望を紹介します。

## サステナビリティ志向の高まりから アルミニウム缶は“プレミアムプロダクト”へ

北米では年々、アルミニウム缶の需要が拡大しており、2030年まで年率5%で成長すると予測されています。こうした需要拡大の背景には、消費者の好みの変化があります。近年、サステナビリティを考慮して製品を選ぶ消費者や環境に関する知識が豊富な若者が増加しており、こうした人々は、アルミニウムが軽量で、リサイクル性に優れた低環境負荷素材だと理解しています。そうしたこともあり、かつては瓶入り飲料が高級品とされていましたが、

昨今はアルミニウム缶が“プレミアムプロダクト”とされ、新たに発売される多くの飲料製品にアルミニウム缶が選ばれるようになったのです。

現在、北米のアルミニウム缶市場では、非常に明るい見通しが立っていることに加え、サステナビリティ関連の新たな成長機会も複数存在しています。私たちは、こうした機会を確実に捉え、より豊かな未来を目指して邁進していきます。

執行役員  
Tri-Arrows Aluminum Inc.  
President and CEO

**Henry Gordinier**





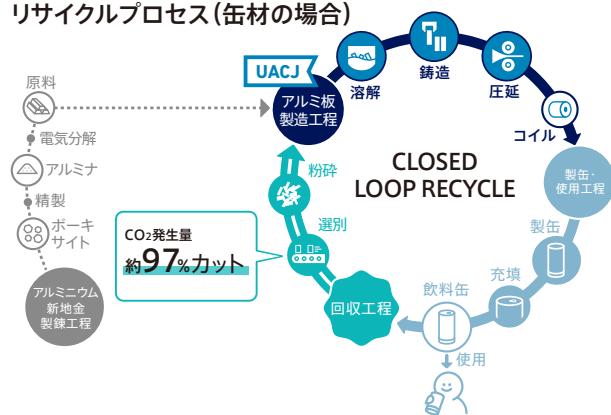
## CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減するリサイクル。 その鍵となる“回収”の仕組みづくりに動き出したUACJ。

アルミニウムは、スクラップをリサイクルして新地金の使用割合を削減することによってCO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減できます。そのリサイクルを推進していくうえで、技術的なことのみならず、使用済みのアルミニウムを確実に“回収”する仕組みをつくることが重要になります。しかし、これは私たちだけでできることではなく、サプライチェーン全体で取り組む必要があります。

そのなかで、私たちはサプライチェーンのあらゆる関係者に呼びかけて、リサイクルシステムの構築をリードしていく考えです。例えば、缶であれば、消費者が廃棄したものを回収している自治体だけでなく、スクラップを取り扱う加工業者なども対象としていきます。

また、リサイクルにおいては、用途によって異なるライフサイクルも踏まえる必要があります。缶のようにライフサイクルが短いものは比較的短期間で回収できますが、自動車などでは10年以上使用されることもあります。こうし

### リサイクルプロセス(缶材の場合)



た違いも踏まえながら、回収したアルミニウムをうまく組み合わせることで全体のリサイクル率向上を目指していきます。

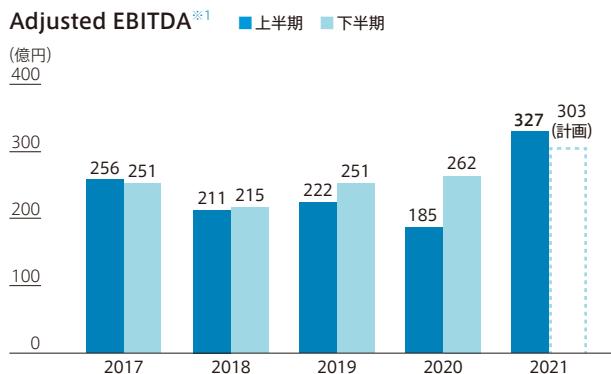
私たちは、こうした取り組みを通じて、リサイクルの輪を広げるとともに、アルミニウムによる環境負荷低減を追求していきます。

## 財務情報

### 収益性

環境への関心の高まりによって、世界的に缶需要が旺盛となり、UATHやTAAでは缶材の販売数量が大幅に増加しました。また、自動車などの輸送機器向けなどでも需要が回復。その結果、売上高は前年同期比38.0%増と

なりました。損益面では、国内製造所やUATHの操業度改善にともなう業績回復、TAAの好調な業績、アルミニウム地金価格の高騰による棚卸資産影響の好転が起因し、経常利益が前年同期から284億円増加しました。



\*1 Adjusted EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費-棚卸資産影響

## 効率性

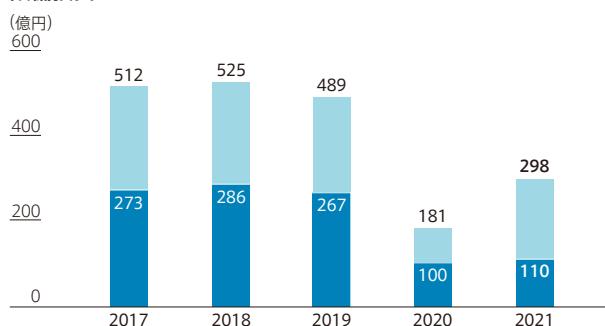
UATHやTAAにおける設備増強を中心とした先行投資が2019年度で一巡し、回収フェーズに入りました。今後は、資本効率をより一層重視し、成長市場や成長分野、

気候変動対策などの重要な課題に対し、厳選して投資する方針です。

### 自己資本比率



### 設備投資

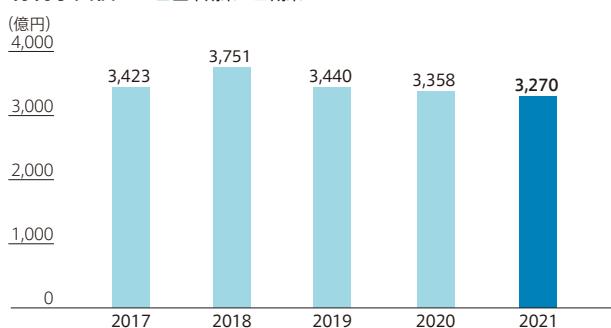


## 安全性

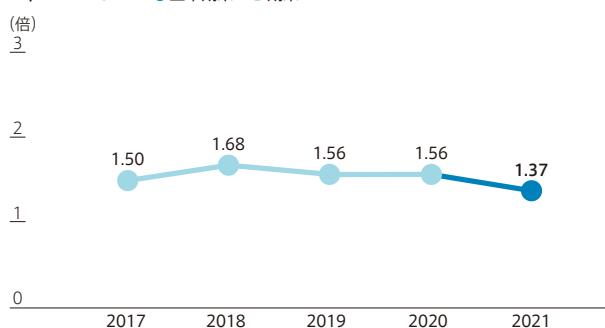
借入金の返済によって有利子負債が減少しました。また、業績の改善にともなって株主資本が増加し、D/Eレシオ

が好転しました。有利子負債の削減に引き続き取り組み、財務基盤の安定を目指します。

### 有利子負債



### D/Eレシオ<sup>※2</sup>



※2 劣後ローンの資本性考慮後

## 会社概要 (2021年9月30日現在)

### 会社データ

<b>名称</b>	株式会社UACJ (英文名:UACJ Corporation)
<b>事業内容</b>	アルミニウム等の非鉄金属及びその合金の圧延製品・鋳物製品・鍛造製品並びに加工品の製造・販売等
<b>資本金</b>	522億77百万円

### 拠点一覧

<b>本社</b>	東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル
<b>製造所</b>	名古屋(愛知県)/福井(福井県)/ 深谷(埼玉県)
<b>支社・支店</b>	中部支社(愛知県)/関西支社(大阪府)/ 九州支店(福岡県)
<b>研究所</b>	R&Dセンター(日本/米国/タイ)

### 役員一覧

<b>取締役</b>	代表取締役社長兼社長執行役員	石原 美幸	<b>執行役員</b>	専務執行役員	田口 正高
	取締役兼副社長執行役員	土屋 博範		常務執行役員	山口 明則
	取締役兼専務執行役員	新堀 勝康			阿部 禎一
	取締役兼常務執行役員	川島 輝夫			細見 和弘
		平野 清一		執行役員	今泉 明人
	取締役兼執行役員	田中 信二			須ヶ間 聡
	取締役(社外、非常勤)	鈴木 俊夫			橋本 圭造
		杉山 涼子			Henry Gordinier
		池田 隆洋			
		作宮 明夫			
<b>監査役</b>	常勤監査役	田中 清			
		坂上 淳			
	監査役(社外、非常勤)	浅野 明			
		入山 幸			
		山崎 博行			
		元山 義郎			

## 株式情報 (2021年9月30日現在)

### 基本情報

上場市場	東証
証券コード	5741
株式の売買単位	100株
発行可能株式総数	170,000,000株
発行済株式総数	48,328,193株 ※ 自己株式104,219株を含む
株主数	25,000名
決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	期末配当 3月31日
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
公告方法	電子公告 <a href="https://www.uacj.co.jp/">https://www.uacj.co.jp/</a> (やむを得ない事由により、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します)

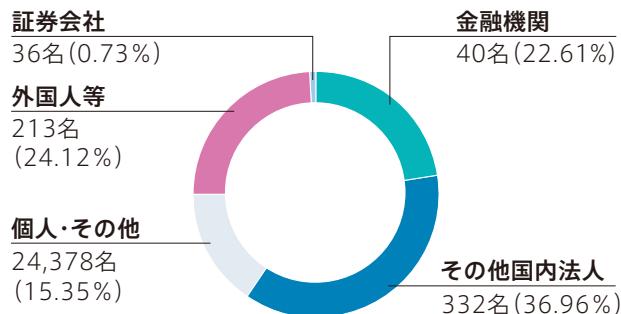
### 大株主

株主名	持株数 <sup>※1</sup> (千株)	持株数比率 <sup>※2</sup> (%)
古河電気工業株式会社	12,036	24.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,588	9.51
日本製鉄株式会社	3,744	7.76
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,967	4.07
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	1,832	3.80
ECM MF	1,450	3.00
MLI FOR SEGREGATED PB CLIENT	1,005	2.08
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	857	1.77
株式会社日本カストディ銀行 (信託口9)	840	1.74
UACJグループ従業員持株会	788	1.63

※1 100株未満を切り捨てて表示しています

※2 自己株式(104,305株)を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています

### 所有者別の構成比率(株式数比率)<sup>※3</sup>



※3 大株主、所有者別の構成比率は自己株式を除いています



当社グループのESG (環境・社会・ガバナンス)に関する活動をご紹介します。

## 世界最大級の太陽光発電システムを UATHラヨン製造所に導入

長期経営ビジョン「UACJ VISION 2030」の中で重要課題の一つである「気候変動への対応」として、UATH※1はラヨン製造所に世界最大級※2の太陽光屋根置き発電システムを導入します。ラヨン製造所が位置するタイは日本よりも日照条件が良く、そこに約4万枚の太陽光パネルを設置することで、約25GWh/年を発電する計画です。UATHでは、この発電した電力を使用することで年間約1.4万トン※3のCO<sub>2</sub>を排出削減する見込みです。

※1 UACJ (Thailand) Co., Ltd.

※2 2021年6月8日時点。関西電力(株)調べ

※3 タイ政府公表値であるCO<sub>2</sub>排出係数(0.566kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用して算出

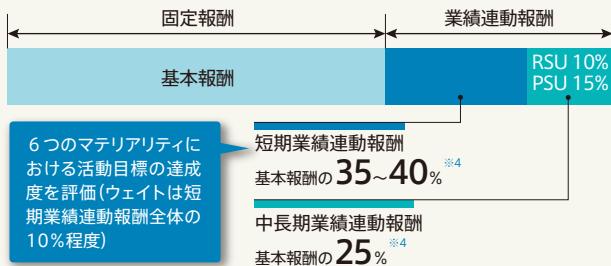


太陽光パネルの設置イメージ

## サステナビリティ活動の推進に向け 役員報酬体系に非財務指標を設定

当社は長期経営ビジョン「UACJ VISION 2030」において、社会とともに持続的に成長していくうえで優先的に取り組むべき「重要課題(マテリアリティ)」を特定しました。役員報酬制度についても、こうしたサステナビリティ活動を一層推進する仕組みとすべく、2021年度から短期業績連動報酬のなかにSDGs評価を組み入れました。財務指標と非財務指標の両面から役員報酬を評価することにより、今後の企業価値向上を図っていきます。

### 役員報酬体系



※4 短期・中長期ともに目標達成度100%の場合

## SDGsバッジ・キーホルダーをリサイクルしたアルミニウム材で製作

当社グループでは、グループ社員が協同して、SDGsバッジ・キーホルダーを製作しました。このバッジ・キーホルダーは、アルミニウム製品の製造過程で発生する端材をリサイクルしたものを活用しています。これを身に付けることで、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献していく当社の経営姿勢を社内外に発信していきます。





# 株主の皆様からのご質問にお答えします!

Question

## UACJの競争優位性(強み)とは?

当社ではTAAやUATHの生産能力を増強する投資を実施してきたこともあり、日本、米国、タイの「世界3極を中心とした供給体制」が当社の競争優位性であると認識されている方も多いかと思えます。しかし、それだけではありません。100年以上の事業活動のなかで究めてきた素材を活かす「多彩な加工力」。そして、品質重視で培ってきた信頼関係からなる「強固な顧客基盤」。これらを有し、組み合わせることができるからこそ、他のアルミニウムメーカーにもできないほど幅広い分野の製品を、世界各地のお客様へ供給できるのです。



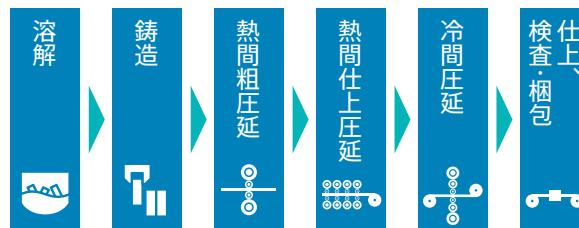
幅広い分野・世界各地に、  
さまざまな製品を供給

Question

## 主力のアルミニウム板製品はどのように作られるの?

アルミニウムは、ボーキサイトを製錬して、アルミナを経て生成されます。当社は、そのアルミニウムを地金として仕入れ、さまざまなアルミニウム製品を作り出しています。その工程は、まず、地金を溶かし、不純物を取り除き、大きな直方体の塊(スラブ)を作ります。それを均熱処理した後、熱間圧延機でスラブを3mm程度に薄く延ばし、コイル状に巻き取ります。その後、冷間圧延機で、板の厚さや平坦度などをコントロールしながら、冷間圧延を行います。最後に、缶などの製品に応じて仕上処理(表面処理・塗装など)を行い、お客様にお届けしています。

### 板製品の加工プロセス



詳しい製造工程を動画でご紹介しています。  
<https://www.uacj.co.jp/ir/other/movie/index.htm>



# 株式会社UACJ

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目7番2号  
東京サンケイビル  
Tel. 03-6202-2600(代表) Fax. 03-6202-2021  
<https://www.uacj.co.jp/>



"UACJ"、UACJ は、日本、米国、中国および欧州連合商標 (EUTM) などにおける株式会社 UACJ の登録商標です。

## 単元未満株式の買取制度のご案内

当社では、単元株制度を採用しており、1単元は100株とさせていただきます。

単元未満株式(1~99株)は議決権がなく、また証券市場にて売買することができません。

単元未満株式につきましては、法律および当社定款・株式取扱規則の規定に基づき単元未満株式の買取制度をご利用いただけます。

※単元未満株式の買取請求に際して当社にお支払いいただく手数料は無料となっております。

## 証券口座に株式をご所有の株主様

お取引の証券会社にお問い合わせください。

## 旧住友軽金属工業の株式を特別口座にご所有の株主様

下記にお問い合わせください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)